

やっちら認知症応援マップ 見守ってはいよ

～認知症になっても安心して暮らせるように～



八代市

目 次

○はじめに	1
○認知症に関する基礎知識	
・ 認知症は病気です！	2
・ 家族が作った「認知症」早期発見のめやす	3
・ 認知症の人の気持ちと対応のポイント	4
・ 介護保険サービス	5
○認知症に関する相談先	
・ 医療機関（かかりつけ医）・認知症疾患医療センター	6
・ 八代市地域包括支援センター・あんしん相談センター	7
・ 民生委員・児童委員・八代市役所長寿支援課・支所	10
認知症の人と家族の会・認知症ほっとコール・ 若年性認知症の電話無料相談	
・ 市民相談室・八代市社会福祉協議会	11
○認知症への取り組み	
・ 地域支援ネットワーク（イメージ図）	12
・ 取り組み内容	13
・ 認知症サポーターになりませんか	14
・ 高齢者事前登録制度、やっちら認知症応援ネットワーク	15
○地域資源マップ（あなたの校区の認知症応援ネットワーク協力機関）	
・ 医療機関（もの忘れ相談医）一覧	16
・ 公共機関一覧	18
・ 坂本校区	20
・ 日奈久校区	22
・ 二見校区	24
・ 宮地校区	25
・ 高田校区	26
・ 植柳校区	27
・ 金剛校区	28
・ 八千把校区	30
・ 松高校区	32
・ 麦島校区	33
・ 代陽校区	34
・ 八代校区	36
・ 郡築校区	38
・ 昭和校区	39
・ 太田郷校区	40
・ 千丁校区	42
・ 龍峯校区	44
・ 東陽校区	45
・ 鏡校区	46
・ 泉校区	48

『やっちら認知症応援マップ 見守ってはいよ』について

「認知症になっても住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい」

そのためには地域全体で認知症の人とその家族を支える地域づくりが必要です。

この冊子は認知症の基礎知識と、認知症高齢者等の見守り等に協力していただける店舗・事業所等（認知症応援ネットワーク協力機関）をまとめたものです。

これらのネットワーク協力機関は各校区で偏らないように配慮して協力をお願いしており、原則「認知症サポーター養成講座」を受講していただいております。

はじめに

近年、高齢化の急速な進展に伴い、本市の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は28.0%であり、国及び県の平均を上回っています。また、一方では、認知症の症状がみられる高齢者も急増しており、その数は全国で200万人を超え、15年後には320万人を超えると予測されています。

このため、国においては平成17年度を「認知症を知り地域をつくる10ヵ年」構想のスタートの年と位置づけ、多くの人々に認知症が正しく理解され、また認知症の人が安心して暮らせるまちがつけられていくよう、様々なキャンペーンや取り組みを積極的に推進しているところです。

この取り組みのひとつとして、平成19年度には認知症高齢者とその家族に対する支援体制を構築するため「認知症地域支援体制構築等推進事業」が創設されました。

本市におきましても、認知症の人とその家族を支え、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、平成21年度からの2ヵ年間、「認知症地域支援体制構築等推進事業（モデル事業）」に取り組んでまいりました。

今回、この事業のひとつとして、身近な地域の中で、認知症高齢者等の見守り等を行うネットワーク協力機関となる店舗・事業所等を掲載した『やっちろ認知症応援マップ 見守ってはいよ』を作成いたしました。

この冊子を通して、認知症が正しく理解され、また、地域に認知症高齢者等の見守り等を行う協力機関があることを知っていただくとともに、さらに、このネットワークの輪が広がって、認知症になっても安心して暮らせるまちへとつながっていくことを願っております。

最後に、冊子の発行にあたり、ネットワーク協力機関をはじめ、八代市地域包括支援センター、熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター、モデル事業コーディネーター等の皆様方には格別のご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

平成23年2月

八代市長 福島 和敏